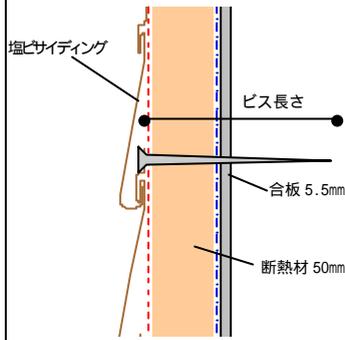


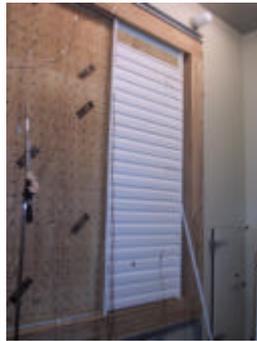
塩ビサイディング及び部材の汎用利用に関する研究

共同研究機関名 **ゼオン化成株式会社**
 担当部科 **居住環境科**

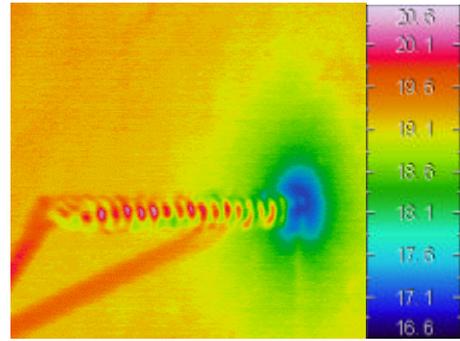
研究の目的 既往の研究により施工手間の削減と防火構造、断熱性能を有する通気胴縁を用いない塩ビサイディング直張外張断熱工法を開発しました。本研究ではこの工法や塩ビ部材をより広く普及するために、塩ビ部材の汎用利用の検討、直張外張断熱工法の性能検証などを行います。



試験体断面



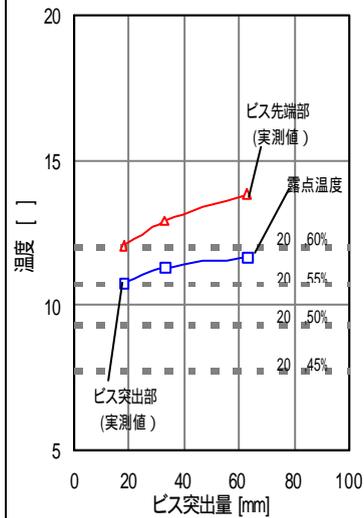
試験体設置状況



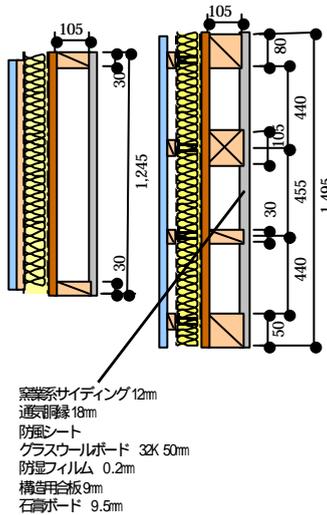
ビス貫通部の熱画像

研究の結果 この研究は平成13年度から15年度までの3年間の研究です。今年度は既往工法の性能検証として、実験室における実大壁による取付けビスの温度性状の把握、壁の遮音性能の測定を行いました。この結果以下のことが明らかになりました。

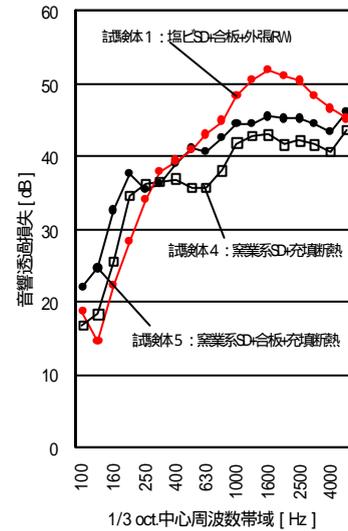
- ・取付けビスの室内への突出長さの違いによる温度性状
- ・塩ビサイディングを用いた外張断熱工法外壁の遮音性能は中高音域では一般的な外壁と遜色がない性能であること
- ・外張断熱工法に使用する断熱材がグラスウール 32K とロックウール 120K とで遮音性能に差がないこと
- ・外張断熱方法の軸間にグラスウールを挿入した場合に中低音域で遮音性能が向上すること



ビスの温度と露点温度



音響透過損失測定試験体



音響透過損失の測定結果

活用方法・成果 今年度は研究の中間年度のため、最終的な成果は出ていませんが、この研究で得た試験結果と成果は共同研究相手と共有し塩ビサイディングと部材の普及に用います。また、当研究所の成果として技術者への情報提供や技術指導を行うと共に、今後の研究に活用していきます。

来年度は、塩ビサイディングの火災時の性状把握、他の断熱材を下地にした場合の防耐火性能の把握、RC造への施工実験等を行う予定です。